

協働事業に関する提案書

令和 3年 4月 6日

(宛先)狭山市長

団体名 MA-ZIRY

所在地

代表者名 澤田 真依

次のとおり、協働事業に関して提案します。

1 提案する協働事業	<input checked="" type="checkbox"/> 市民提案型協働事業 <input type="checkbox"/> 行政提案型協働事業
2 事業名	見えない違いに目を向ける「まちづくり」 in SAYAMA
3 事業期間	令和 3年 4月 16日から令和 4年 2月 28日
4 事業種別	<input type="checkbox"/> 単年度事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業
5 事業予算	総額 148,790 円 (内補助金申請額 103,000 円)
6 事業概要 ※100字以内で簡潔に記入してください	性的マイノリティ(LGBTQ等)に関する理解啓発と、ダイバーシティとインクルージョンの醸成に関する活動を行い、誰もが安心して、地域で自分らしく暮らせる「まちづくり」を目指す事業。
7 添付書類	<input checked="" type="checkbox"/> 協働事業に関する企画書 (様式第2号) <input checked="" type="checkbox"/> 協働事業収支予算書 (様式第3号) <input checked="" type="checkbox"/> 協働事業実施スケジュール (様式第4号) <input checked="" type="checkbox"/> 協働事業提案団体概要書 (様式第5号)



団体名 MA-ZIRY

1 事業名	見えない違いに目を向ける「まちづくり」 in SAYAMA
2 事業の詳細	<p>現在、「人それぞれである」性のあり方の多様性が尊重され、誰もが自分らしく生きることのできる社会を、実現していくことが求められているにも拘らず、社会においては理解が十分深まっておらず、依然として、性的マイノリティ(LGBTQ等)の方に対する、先入観による差別や偏見などが見受けられ、孤独感や生きにくさを感じてしまうという状況があります。この課題を解消していくためには、以下の5つの事業</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 情報発信(市報、狭山市・男女共同参画センターのホームページ、団体のブログ)</li> <li>2. 啓発リーフレット作成</li> <li>3. 交流会(年2回)※コロナ禍でストレスや孤独を感じている人が多いことから、交流会を通じての居場所づくり</li> <li>4. 講演会(年1回)※広く市民に対し、性的マイノリティ(LGBTQ等)に関する正しい知識と理解の普及・啓発</li> <li>5. 意見交換会(年1回)</li> </ol> <p>を実施し、性的マイノリティ(LGBTQ等)の方が置かれている現況について、十分に理解し、受け入れていく地域社会を作ることが必要不可欠です。</p>
3 実施体制	<p>私達の団体は、立ち上げたばかりの小さな組織ですが、福祉・教育の公的な資格を有している者、企業で働きやすい環境整備に長年携わってきた者で構成されています。近年、性的マイノリティ(LGBTQ等)を取り巻く環境は大きく変化し、関心が高まりつつあるものの、理解が進んでいるとは言い難い状況です。団体として、この事業を狭山市と協働で、継続的に実施することにより、性的マイノリティ(LGBTQ等)への配慮意識の醸成をおこなっていけると考えています。</p>
4 役割分担	<p>【提案団体の役割】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 事業に関する企画・提案・実施・報告</li> <li>2. 当事者の声、課題等を行政に伝達</li> <li>3. チラシの配布に際して当団体やイベントの周知</li> </ol> <p>【市の役割】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 公的な広報</li> <li>2. 公的な場の提供</li> <li>3. 現況の把握と支援すべき課題の洗い出し</li> <li>4. 性的マイノリティ(LGBTQ等)に関する課題等を把握し、計画策定に反映</li> </ol>
5 協働の効果	<p>性的マイノリティ(LGBTQ等)は「その人らしさ」そのものであり、それを保障することは人権を守ることです。この事業を狭山市と協働・実施することにより、人権擁護につながり、地域課題の一つである「性的マイノリティ(LGBTQ等)が理由による差別」の解消に向けた、取り組みとなります。それにより、誰もが、お互いの人権や尊厳を大切にし、支え合い、生き生きとした人生を送ることが出来る社会、すなわち「共生社会」の実現を目指すものとなります。</p>
6 事業のアピールポイント	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 性的マイノリティ(LGBTQ等)に関する、配慮意識の醸成が浸透することにより、誰もが安心して、地域で自分らしく暮らせる「まちづくり」が実現できる。</li> <li>2. 性的マイノリティ(LGBTQ等)に限らず、全ての人がエンパワーメントを発揮できる環境作りに貢献出来る。</li> <li>3. 日本でダイバーシティというと、女性にフォーカスされがちですが、男女差、外国人、障害者、高齢者等といった目に見える違いだけではなく、目に見えない「違い」にも目を向けることで、より多様性を受け入れる基盤作りに繋がっていく。</li> </ol>